

立山駅周辺での過ごし方

立山黒部アルペンルートの始点である立山ケーブルカーの起点であり、立山への玄関口でもある立山駅。駅周辺は、アルペンルートや立山連峰を目指す旅行者の拠点として機能しており、レストラン、ホテル、伝統的な旅館、立山の地質や文化の歴史を紹介する立山カルデラ砂防博物館などがある。

駅を出てすぐのところにある「おにぎりの志鷹」は毎日午前 6 時半に開店し、立山登山の前に軽食を買うハイカーたちの人気を集めている。志鷹のおにぎりは海苔を巻いたもので、近くのレストラン & カフェ「あおき」では、この地方の特産であるとろろ昆布を巻いたおにぎりを販売している。あおきでは、ラーメン、そば、うどん、牛丼、豚丼、カレーライスなど、テーブルでの食事も可能だ。その隣で、メインディッシュとサラダ、スープ、選べるドリンクからなるランチセットは、ホステルや観光案内所を兼ねたスタイリッシュなカフェ、「ロコモーション コーヒー アンド ベッド」で提供されている。

立山駅周辺の宿泊施設には、伝統的な旅館「千寿荘」、ホテル「立山館」、「グリーンビュー立山」などがある。千寿荘とグリーンビュー立山には温泉入浴施設がある。近くの立山カルデラ砂防博物館では、アルペンルートの起源から自然災害の経験まで、立山の自然や歴史を紹介している。また、近くには国立登山研修所があり、自然災害時の避難所にもなっている。